

大垣西濃信金が県内初

大垣西濃信用金庫(大垣市恵比寿町、栗田順公理事長)は、取引先から経営相談を受ける「だいしんビジネスてらす」にオンライン方式「Webてらす」を導入する。新型コロナウイルスの感染拡大

によるオンライン方式へのニーズの高まりに対応する。同金庫の既存のシステムを活用するため、相談者はタブレット端末などの機器を用意する必要がなく、通信料も不要。8日から受け付けを始める。同金庫によると県内金融機関でオンラインで経営相談を行うのは初めて。

(鈴木隆宏)

オンラインで経営相談

8日から 機器や通信料不要



オンライン方式の経営相談「Webてらす」のデモンストレーションを行う担当者＝大垣市恵比寿町、大垣西濃信用金庫本店

支店長や渉外担当者が取引先から希望を聞き、売り上げアップといった対象となる相談の場合に受け付ける。機器は支店長や渉外担当者を使用しているタブレット端末を使用している。同金庫内で使っている既存の会議システムを活用する。対面での経営相談を受けている本店や岐阜支店(岐阜市)、北方支店(本巣郡北方

町)まで足を運ぶ必要がなくなり、自宅や会社の事務所、近隣の支店といった場所を自由に選んで相談が可能。また普段から接している支店長や渉外担当者が原則同席するため、相談者は初めての利用でも気楽に相談できる。

対面方式は2019年7月に開始。今年1月末までに計1006件の相談を受けた。内容は売り上げアップや事業成長、事業承継といった本業支援に特化しており、コロナ禍で厳しい経営環境にあることから相談ニーズは高まっている。

オンラインも対面同様に金曜日に対応。担当する松岡伸治ビジネスサポート部長は「今までほとんどなかった愛知県など遠方のお客さまからの相談も受けられる。オンラインでより気軽に相談いただければ」と期待している。